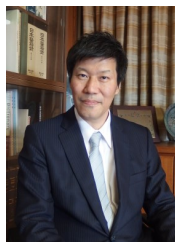


平成30年度を迎えて

医療法人つくし会 理事長
南国病院 院長 中澤 宏之

目次

第7回開院記念院内 発表会	2
開院49周年記念祝 賀会	3
第7回看護部チーム 発表会	4
第21回高知県精神 科総合研究会	6
院内学術研修会	6
資格取得奨励制度を 活用して	7
在宅医療支援セン ター栄養室の開設に ついて	7
精神科作業療法室活動報 告	8
精神科デイケア室活動報告	8
新たなスタート	10
診療のご案内	12



初夏を思わせる爽やかなお天気が続きますが、新年度を迎え、院内各部署、関係機関の皆様には気持ちを新たにご活躍のことと思います。当院はこの4月で無事開院49周年を迎え、去る4月18日には開院記念行事として院内発表会と祝賀会を開催し、いずれも盛況のうちに終えることができました。49年間という長い間当法人を継続、発展できたのは職員や関係機関の皆様、地域の皆様のご指導、ご支援の賜物と感謝しております。「つくし会」の名前は、自らの成長と共に人に尽くす医療をめざすことに由来し、この「自己研鑽と奉仕の精神」が法人の理念として皆様に受け入れられ、微力ながらも今日まで地域医療に貢献してこられたことは幸せであり、また改めて責任の重さを感じています。

今年も、昨年10月以降4月までに18名の新規採用者をお迎えすることができました。医療従事者の確保が難しい情勢の中、沢山の専門職の方々が当院を選んで下さり大変嬉しく思っています。当院は、看護部を中心にワーク・ライフ・バランスの充実に向けた取り組みを行っていますが、国の働き方改革の趣旨を理解し、これまで以上に働きやすい職場環境づくり、多職種協働を進めていきたいと思っています。

4月から地域連携・医療相談室に外来看護師長と兼任の看護師が室長として着任しました。当院の専門性である神経内科、精神科、消化器内科の診療が充実するためには、院内外の連携が不可欠となりますが、連携の窓口として広く皆様にご周知頂ければ幸いです。転院相談や入退院時の関係機関との連絡調整など、これまで以上に効率的なコーディネートができると期待しております。

当法人の在宅支援部門としては、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション、精神科デイケアがありますが、今後は在宅医療の更なる充実に力を注ぎたいと思っております。4月からは訪問看護師が4名体制となりました。神経疾患や精神科疾患だけでなく、他医療機関の先生方からの指示を受けて幅広い疾患に対応しておりますので、どうぞご利用下さい。

新年度は開院記念行事として、院内発表会、開院記念祝賀会、職員旅行、納涼祭やバザーなどの行事が順次開催され、新しい仲間を迎えた我々もフレッシュな気持ちになります。当院の一番の強みであるチーム医療に新たな仲間が加わり、皆様が各部署で自分らしく活躍して下さることを期待しています。厳しさを増す医療情勢の中、当院の専門性をもって地域の医療需要にしっかり応えられるよう職員一同努力して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。今年度が当院と皆様にとって実りの多い年になりますようお祈りいたします。

第7回 開院記念院内発表会

H30.4.18(水)

在宅医療支援センター・センターホール

第七回開院記念発表会と博多と私

第1部座長 消化器内科 麻植 啓輔

開会のご挨拶で玉元先生が、院外で経験する発表の練習の場として、若い方たちには気後れすることなくご発表頂きたい、と述べられました。「それ、言いたかったのに！」と静かに嫉妬にかられていたことを今、告白します。私は若手の頃、不得意な分野の学会発表を上司からまかせられ、本番では声は震え、質疑応答で何一つ答えられず大変苦しい思いをし、トラウマから開催地の博多にまで苦手意識を持つようになりました。上司には学会後しばしば、「麻植君の博多の大失敗」と笑いのネタにされ、しばらく発表に必要以上に緊張する様になりました。その後経験を重ね苦手意識を払拭できましたが、今思ってもあれは意味のない失敗だったと怒りを覚えます。若手の育成において温情と許容を示すこの会は、長く存続して欲しいと願います。

さて、若手のみなさんは期待に十分に答えられました。野村さんは崩れそうな所でも流れを戻す芯の強さを見せ、齋藤さんはらしさ満載で聴衆を自分のワールドに引き込み、田井さんはMr. pureと呼ぶべき真摯な姿勢を貫き、皆さん成功を収めました。あ、ベテランの前田さんと市村さんに関しましては、文字数も



通所リハビリテーション
における認知症の
リハビリテーション

通所リハビリテーション室長
理学療法士 市村 瑞也

嚥下調整食の
取り組みについて

栄養部
栄養士 野村 和加

ケアの充実を目指して
—業務改革に悪戦苦闘中—

2病棟看護師 齋藤 由佳

足りなくなってきましたので、お見事！とだけ述べ割愛させて頂きます。

最後に、齋藤さんがプレゼントをもらえたかと、8月に市村さんがお祝いの言葉はもらえるのかということが、座長の私が今一番気になることであると述べて、本文の締め括りとさせて頂きます。

つなげる看護を目指して
～業務改善は誰のため？～

3病棟看護師 田井 計行

当院の開放病棟に
おける
長期入院患者への
退院促進を考える

5病棟看護師
前田 春樹



第2部座長 精神科部長 玉元 徹

6番目の発表は、事務長心得の中川博文さんのSNSの歩き方ですが、SNSの問題点を指摘していただき、我々の普通の生活に警鐘を鳴らしてもらいました。今後もそういった情報は年に1回とは言わず、半年に1回ぐらいは提供していただくと、みなさんの暮らしも安全になると感じました。今後、インターネットを使った巧妙な振り込め詐欺などの問題もまだまだ増えているようですので、その辺りの情

